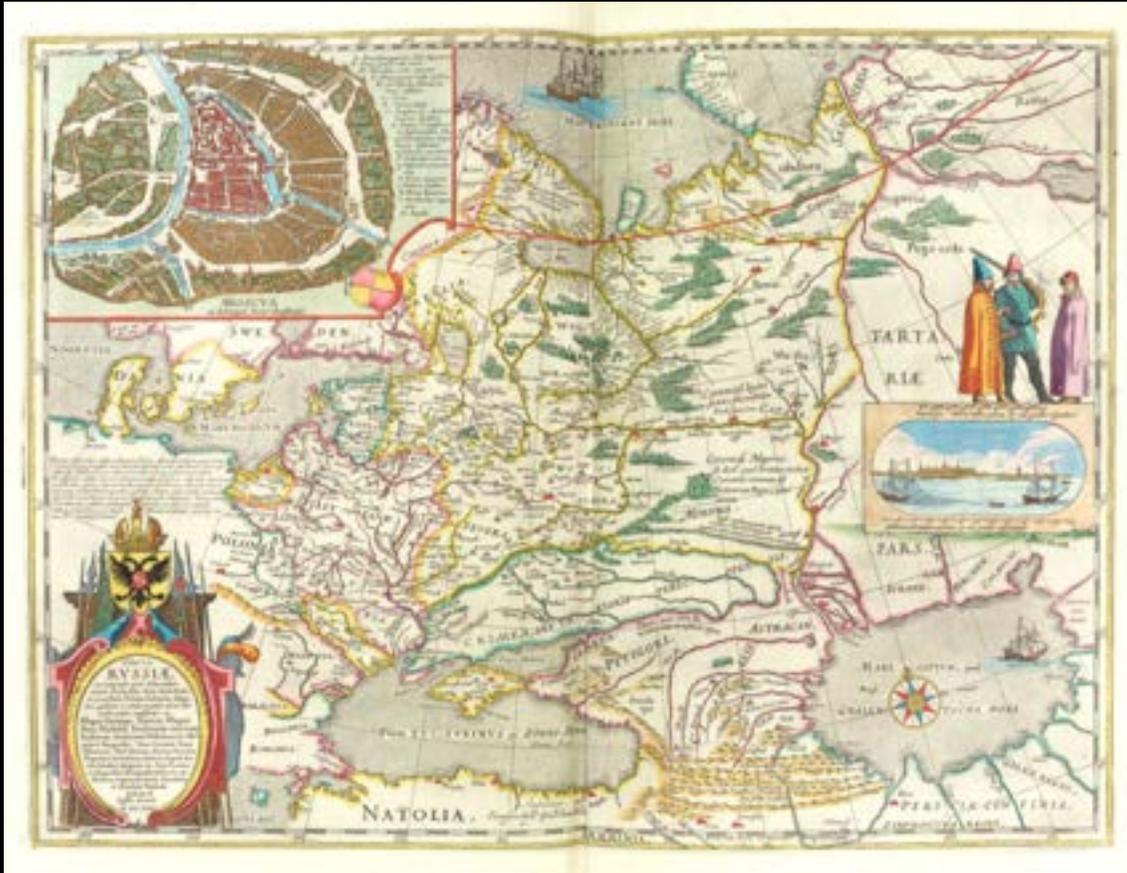


大地図帳

ヨアン・ブラウ、ウィレム・ブラウ
1664年 アムステルダム刊

左上に見えるはクレムリン！



17世紀のオランダは経済・文化の両面でヨーロッパ随一の繁栄を迎え、オランダ東インド会社の本社が置かれたアムステルダムには、世界中の地理情報が集まりました。本書には、当時最新の地図と各地の情報は収録されています。第1巻には、ヨーロッパ全図、北極圏、ロシアなど、北東ヨーロッパ地域の各地図が掲載されています。ロシア地図の左上に見えるのがモスクワのクレムリンです。

*Large Atlas, Joan Blaeu, Willem Blaeu,
1664, Amsterdam*

The Netherlands entered the Europe's greatest prosperity in both economically and culturally in the 17th century. Geographic information around the world was gathered in Amsterdam, where the head office of Dutch East India Company was located. This book contains the latest maps and information of various regions at that time. This first volume includes maps such as one of Europe, the Arctic Circle, Russia, and Northeast Europe. We display the map of Russia. You can see Kremlin of Moscow at the upper-left side.



大地図帳 ヨアン・ブラウ、ウィレム・ブラウ作 1664年

左上に見えるはクレムリン!

これはモスクワの拡大図です。
有名なクレムリン広場はどのあたりにあるでしょうか?

このあたりの海域には、とある有名な動物がよく泳いでいます。
かわいらしい海の動物もたくさんいます。
さて、いったいどんな動物でしょうか。
展示してある他の資料から考えてみましょう!



これは一体何でしょう?地図に無く
てはならないとても大切なものです。

【やってみよう】
地図の左上には現在のロシアの首都、モスクワの拡大図があります。
では、そのモスクワは大地図帳のどこにあるでしょうか。探してみましょ!

【意外なところで...】
ブラウ一家が描いているこの鮮やかな地図は、かの有名な芸術家のフェルメールにも影響を与えたと言われています。フェルメールの絵の中には、この地図帳に掲載されている「オランダ図」が描きいられています。